

# 改訂版の序

本書「そうだったのか！絶対わかる心エコー」の初版が発行されてから、すでに10年以上が経ちました。幸いにも初版はたくさんの、心エコーを学ぼうとする方々に温かく迎え入れていただくことができました。今回、本書の改訂版を出版することができましたのも、ひとえに読者の皆様の温かいご支援の賜物と感謝しております。

初版発行のときと比べて、画質の向上、装置の軽量化、ネットワーク機能の充実など心エコー装置の進歩には著しいものがあります。また初版でも述べたスペクトルトラッキング法による心筋ストレインの計測や3Dエコー法なども臨床の場で着実に広まってきました。さらに重要なことは、循環器病の臨床的な考え方がこの10年あまりで大きく変わったことです。これには研究面での進歩のみならず、治療法が大きく進歩したことが関係しています。さらに今後は心エコーにおいてもAIが大きく活用されると予想されます。

このような進歩に伴って心エコーに求められる内容も変わってきました。診断基準についてもガイドラインの変更とともに大きく変わった点も少なくありません。そのため初版の内容では今日の基準とは合わない部分も出てきました。そこで本書も今日の基準に合わせてアップデートした改訂版を発行させていただくこととなりました。

改訂にあたっては、内容はできるだけ今日のガイドラインに順じるようにし、図表もできるだけ新しいものに置き換えました。動画についても一新し、内容も充実させました。初版の目標である「初心者であってもわかりやすく、現場で簡単に参照できる」こと、また「心エコーを通して病態の診断をめざすこと」については新版でも忘れないようにしたつもりです。ただ筆者の力不足でどこまで目標に近づけたかはいささか心もとない気がします。また改訂にあたって、十分に内容を書き換えることができず、今日の水準に十分に追いついていない部分も多々あるのではと危惧しております。読者の皆様にはご不満の点も多々あるかと存じます。ぜひ忌憚のないご批判をお寄せください。

新しい本書が、これから心エコーの海に乗り出そうという方を含め、心エコーに携わる皆様方の少しでもお役に立てればと願っております。

2025年7月

桜橋渡辺未来医療病院  
岩倉克臣